

杉並区総合計画等(地域産業分野)の改定(案)

(1)総合計画(令和6年度～令和12年度)

まちづくり・地域産業 多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち

施策8 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興

区民に身近な商店街や多面的な機能を有する都市農業など、地域に根ざした産業を支援していくとともに、中小事業者や様々な分野における創業者に対して、経営基盤を強化するための支援を充実し、まちのにぎわいと活力を高めます。さらに、誰もが多様な働き方を選択することができるよう就労支援を充実し、地域産業の振興につなげます。

また、民間団体や区民等と協働して区内外に杉並の魅力をも効果的に発信していくほか、アニメーションミュージアムを観光資源として捉え、展示等を充実していくことにより来街者の誘致につなげ、にぎわいの創出を図っていきます。

施策の現状と課題

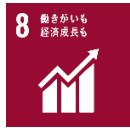
- 中小企業を取り巻く経営課題は、近年、多様化・高度化が進んでおり、様々な課題の解決に向けて取り組む中小事業者や創業しようとする多様な人材への支援が求められています。
- 求職者が抱える不安や課題は、本人の生活環境や個々の健康状態など多岐にわたることから、一人ひとりの状況に即した就労支援が求められています。
- 大型店の進出やチェーン店の増加のほか、インターネットショッピングやキャッシュレス決済の普及など、商店街を取り巻く環境は大きく変化しています。そのような中、にぎわいの向上につながる取組や、地域住民がより安全・安心に買い物ができる商店街の環境づくりへの支援が求められています。
- 区には、「東京高円寺阿波おどり」をはじめとした様々なイベントやアニメーションミュージアムといった観光施設のほか、銭湯や公園、史跡、商店街といった多くの観光資源があります。こうした杉並の魅力や価値を更に高め、にぎわいを創出していくためには、「杉並ならではの」魅力ある観光コンテンツを充実させ、広く発信していくことが求められています。
- 区内の農地・農業者は、相続の発生や後継者、担い手不足等の要因により減少しており、農業者が安定的に農業経営を続けていくための支援が求められています。

計画最終年度の目標

- 社会情勢の変化に応じた中小企業・創業支援や商店街支援等の取組により、地域経済が活性化されています。
- 一人ひとりの状況に即した就労支援が行われ、誰もが多様な働き方を実現しています。
- 「杉並」の魅力や価値が更に高まり、その魅力や価値が区内外に発信され、にぎわいの創出につながっています。
- 農業者への支援のほか、区民の農業への理解促進や地産地消の推進、農福連携事業などの取組により、都市農地が持つ多面的な機能が発揮され、農地が保全されています。

目標に向けた施策指標(成果指標)の設定

指標名		指標の説明
1	創業支援による創業者数	区が実施する特定創業支援等事業を利用し、区内で創業した事業者数
2	就労支援センターの利用による就職決定者数	就労準備相談及びハローワークコーナーを利用し、就職が決定した人数
3	商店街のイベントに参加したことのある区民の割合	区民意向調査
4	アニメーションミュージアム来館者数	—
5	区内農業産出額(農地面積1ha当たり)	区内農業産出額 [※] ÷区内農地面積 ※東京都農作物生産状況調査(目標及び実績は、当該年度において直近で把握できる数値)



施策指標(成果指標)の現状と目標値

指標名	現状値	目標値		単位
		8年度 (2026)	12年度 (2030)	
1 創業支援による創業者数	162 (4年度)	180	180	件
2 就労支援センターの利用による就職決定者数	495 (4年度)	850	850	人以上
3 商店街のイベントに参加したことのある区民の割合	33.7 (4年度)	47.0	51.0	%
4 アニメーションミュージアム来館者数	39,124 (4年度)	60,000	80,000	人
5 区内農業産出額(農地面積1ha当たり)	7.5 (2年分)	7.6 (6年分)	7.7 (10年分)	百万円

施策を構成する実行計画事業

- 1 中小企業の経営と創業の支援の充実 【重点】
- 2 就労支援と多様な働き方の推進
- 3 地域に根ざした商店街の活性化促進
- 4 魅力的な観光情報発信の推進
- 5 アニメを活用した誘客促進
- 6 都市農業の支援・保全と地産地消の推進 【重点】

(2) 実行計画(令和6年度～令和8年度)

1 中小企業の経営と創業の支援の充実

【重点】

社会経済状況の変化を見据え、安定的な経営を目指すための経営基盤の強化、新たな事業展開や業態転換、事業の承継など、経営課題の解決に向けて取り組む中小企業を支援していきます。また、区内で新たに創業を目指す方が円滑に事業活動を行えるよう支援していきます。

	5(2023)年度末(見込)	6(2024)年度	7(2025)年度	8(2026)年度	3か年計
事業量	経営支援 融資あっせん・創業・ 経営相談 相談業務の実施 相談員 4名	経営支援 融資あっせん・創業・ 経営相談 相談業務の実施 相談員 4名	経営支援 融資あっせん・創業・ 経営相談 相談業務の実施 相談員 4名	経営支援 融資あっせん・創業・ 経営相談 相談業務の実施 相談員 4名	経営支援 融資あっせん・創業・ 経営相談 相談業務の実施 相談員 12名
	創業支援 経営・事業承継・創業 アドバイザー派遣 ^{※1} 20事業所 創業支援資金 信用保証料補助 40件 創業スタートアップ 助成 30件 創業セミナーの実施 2回	創業支援 経営・事業承継・創業 アドバイザー派遣 20事業所 創業支援資金 信用保証料補助 40件 創業スタートアップ 助成 30件 創業セミナーの実施 2回	創業支援 経営・事業承継・創業 アドバイザー派遣 20事業所 創業支援資金 信用保証料補助 40件 創業スタートアップ 助成 30件 創業セミナーの実施 2回	創業支援 経営・事業承継・創業 アドバイザー派遣 20事業所 創業支援資金 信用保証料補助 40件 創業スタートアップ 助成 30件 創業セミナーの実施 2回	創業支援 経営・事業承継・創業 アドバイザー派遣 60事業所 創業支援資金 信用保証料補助 120件 創業スタートアップ 助成 90件 創業セミナーの実施 6回
	異業種交流の実施 4回	異業種交流の実施 4回	異業種交流の実施 4回	異業種交流の実施 4回	異業種交流の実施 12回

※1 経営・事業承継・創業アドバイザー派遣:区内で事業を営んでいる人、これから創業する人を対象に、経営や事業承継などに関する助言・指導を行うアドバイザー(中小企業診断士等)

2 就労支援と多様な働き方の推進

就労支援センターにおいて、若者や現役世代のほか就労に意欲のある方に対して就労準備相談、心としごとの相談、各種セミナーを実施するとともに、就職に困難を抱える若者などに対して、就労準備訓練や社会適応力訓練を実施します。また、ハローワーク新宿や近隣区、区内事業者と連携し、人材不足業種への就職面接会等を実施するとともに、ライフスタイルに合わせた働き方が選択できるよう、提供する求人情報の充実を図り、区内就労に結び付けます。

	5(2023)年度末(見込)	6(2024)年度	7(2025)年度	8(2026)年度	3か年計
事業量	若者就労支援コーナー 新規登録者数 750人 就労準備相談・心と しごとの相談 利用延べ人数 2,150人 求人開拓・企業情報 提供 新規求人情報件数 2,000件 セミナー・グループ ワーク 開催回数 120回	若者就労支援コーナー 新規登録者数 750人 就労準備相談・心と しごとの相談 利用延べ人数 2,150人 求人開拓・企業情報 提供 新規求人情報件数 2,000件 セミナー・グループ ワーク 開催回数 130回	若者就労支援コーナー 新規登録者数 750人 就労準備相談・心と しごとの相談 利用延べ人数 2,150人 求人開拓・企業情報 提供 新規求人情報件数 2,000件 セミナー・グループ ワーク 開催回数 130回	若者就労支援コーナー 新規登録者数 750人 就労準備相談・心と しごとの相談 利用延べ人数 2,150人 求人開拓・企業情報 提供 新規求人情報件数 2,000件 セミナー・グループ ワーク 開催回数 130回	若者就労支援コーナー 新規登録者数 2,250人 就労準備相談・心と しごとの相談 利用延べ人数 6,450人 求人開拓・企業情報 提供 新規求人情報件数 6,000件 セミナー・グループ ワーク 開催回数 390回
	ジョブトレーニングコー ナー 新規登録者数 120人 ふるさと就労体験 ^{※1} の実施 就職相談・面接会 28回	ジョブトレーニングコー ナー 新規登録者数 120人 ふるさと就労体験の 実施 就職相談・面接会 28回	ジョブトレーニングコー ナー 新規登録者数 120人 ふるさと就労体験の 実施 就職相談・面接会 28回	ジョブトレーニングコー ナー 新規登録者数 120人 ふるさと就労体験の 実施 就職相談・面接会 28回	ジョブトレーニングコー ナー 新規登録者数 360人 ふるさと就労体験の 実施 就職相談・面接会 84回

※1 ふるさと就労体験:交流自治体の特性を生かした就労体験(農業体験など)を通じて、就労阻害要因を抱える若者の就労意欲を高める合宿型の就労訓練

3 地域に根ざした商店街の活性化促進

商店街によるイベント事業を支援し、地域ににぎわいをもたらす商店街づくりを進めるとともに、商店街からの要請に応じて中小企業診断士等のアドバイザーを派遣し、課題解決やイベント事業等の支援を行います。また、商店街の防犯カメラ設置など、地域住民がより安全・安心に買い物ができる商店街環境の整備を支援します。

	5(2023)年度末(見込)	6(2024)年度	7(2025)年度	8(2026)年度	3か年計
事業量	商店街イベント事業等支援 商店街イベント事業補助 96事業 地域団体との連携によるイベント事業補助 1事業 —	商店街イベント事業等支援 商店街イベント事業補助 100事業 地域団体との連携によるイベント事業補助 3事業 アドバイザー派遣事業 アドバイザー派遣 100件 イベント等の実施 5事業	商店街イベント事業等支援 商店街イベント事業補助 100事業 地域団体との連携によるイベント事業補助 3事業 アドバイザー派遣事業 アドバイザー派遣 100件 イベント等の実施 5事業	商店街イベント事業等支援 商店街イベント事業補助 100事業 地域団体との連携によるイベント事業補助 3事業 アドバイザー派遣事業 アドバイザー派遣 100件 イベント等の実施 5事業	商店街イベント事業等支援 商店街イベント事業補助 300事業 地域団体との連携によるイベント事業補助 9事業 アドバイザー派遣事業 アドバイザー派遣 300件 イベント等の実施 15事業
	商店街施設整備等支援 施設整備・販売促進等の商店街活性化事業補助 21事業 防犯カメラの整備事業補助 66台	商店街施設整備等支援 施設整備・販売促進等の商店街活性化事業補助 21事業 防犯カメラの整備事業補助 70台	商店街施設整備等支援 施設整備・販売促進等の商店街活性化事業補助 21事業 防犯カメラの整備事業補助 70台	商店街施設整備等支援 施設整備・販売促進等の商店街活性化事業補助 21事業 防犯カメラの整備事業補助 70台	商店街施設整備等支援 施設整備・販売促進等の商店街活性化事業補助 63事業 防犯カメラの整備事業補助 210台

4 魅力的な観光情報発信の推進

民間事業者が持つノウハウを活用して、中央線4駅周辺の魅力を広く紹介する「中央線あるあるプロジェクト^{※1}」を引き続き推進するとともに、中央線沿線以外の西武新宿線や京王井の頭線沿線などを含めて区内全域の魅力を更に高めるような「魅力発信事業」を実施していきます。また、区民目線で区の魅力を紹介する「すぎなみ学倶楽部^{※2}」等により、杉並の魅力・情報を区民と協働して発信するほか、「図柄入り杉並ナンバープレート^{※3}」の普及・促進などの事業を通じて、訪問意欲を喚起し、リピーターを含めた更なる来街者の誘致を図ります。

	5(2023)年度末(見込)	6(2024)年度	7(2025)年度	8(2026)年度	3か年計
事業量	情報発信事業 中央線あるあるプロジェクトの推進 実施 魅力発信事業 実施 すぎなみ学倶楽部の運営 実施	情報発信事業 中央線あるあるプロジェクトの推進 実施 魅力発信事業 実施 すぎなみ学倶楽部の運営 実施	情報発信事業 中央線あるあるプロジェクトの推進 実施 魅力発信事業 実施 すぎなみ学倶楽部の運営 実施	情報発信事業 中央線あるあるプロジェクトの推進 実施 魅力発信事業 実施 すぎなみ学倶楽部の運営 実施	情報発信事業 中央線あるあるプロジェクトの推進 実施 魅力発信事業 実施 すぎなみ学倶楽部の運営 実施
	図柄入り杉並ナンバープレートの普及・促進 実施	図柄入り杉並ナンバープレートの普及・促進 実施	図柄入り杉並ナンバープレートの普及・促進 実施	図柄入り杉並ナンバープレートの普及・促進 実施	図柄入り杉並ナンバープレートの普及・促進 実施

※1 中央線あるあるプロジェクト: 区のほか、区内産業団体、企業、NPO等で構成される実行委員会が運営する観光事業

※2 すぎなみ学倶楽部: 区民ライターによって取材・執筆が行われている、杉並区の様々な分野の魅力を発信する区公式ウェブサイト

※3 図柄入り杉並ナンバープレート: 区の魅力を全国に発信することを目的として、平成30年(2018年)10月1日から交付を開始している「なみすけ」の図柄が入った杉並ナンバープレート

5 アニメを活用した誘客促進

アニメーションミュージアムを観光資源として捉え、デジタルを活用した展示や企画内容の充実により、来街者の誘致につなげていきます。また、区内に集積するアニメ制作会社等と連携し、PRなどの支援を行うほか、近隣自治体等との連携により「アニメのまち杉並」としての地域ブランディングに取り組み、地域のにぎわいの創出を図ります。

	5(2023)年度末(見込)	6(2024)年度	7(2025)年度	8(2026)年度	3か年計
事業量	アニメーションミュージアムの運営 企画・展示及び情報発信の充実 実施 区内アニメ制作会社等との連携の推進 実施	アニメーションミュージアムの運営 企画・展示及び情報発信の充実 実施 区内アニメ制作会社等との連携の推進 実施	アニメーションミュージアムの運営 企画・展示及び情報発信の充実 実施 区内アニメ制作会社等との連携の推進 実施	アニメーションミュージアムの運営 企画・展示及び情報発信の充実 実施 区内アニメ制作会社等との連携の推進 実施	アニメーションミュージアムの運営 企画・展示及び情報発信の充実 実施 区内アニメ制作会社等との連携の推進 実施
	近隣自治体等との連携によるアニメ等を活用した広域的な情報発信 実施	近隣自治体等との連携によるアニメ等を活用した広域的な情報発信 実施	近隣自治体等との連携によるアニメ等を活用した広域的な情報発信 実施	近隣自治体等との連携によるアニメ等を活用した広域的な情報発信 実施	近隣自治体等との連携によるアニメ等を活用した広域的な情報発信 実施
	なみすけの普及・活用 実施	なみすけの普及・活用 実施	なみすけの普及・活用 実施	なみすけの普及・活用 実施	なみすけの普及・活用 実施

6 都市農業の支援・保全と地産地消の推進

【重点】

農業経営に意欲的な農業者に対する活動助成や、農業者のニーズに応じた農業ボランティア制度の積極的な活用などにより、都市農業を支援するとともに、農福連携農園^{※1}(愛称:すぎのこ農園)や成田西ふれあい農業公園^{※2}の運営、農業体験農園^{※3}助成等を通じて、都市農地が持つ多面的な機能を広く活用・発信し、都市農地の保全を図ります。

また、東京都と連名で策定した「東京都環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画」に基づき、東京都エコ農産物^{※4}の支援や区内産農産物の地産地消を進め、環境への負荷低減に配慮した持続可能な農業を推進します。

	5(2023)年度末(見込)	6(2024)年度	7(2025)年度	8(2026)年度	3か年計
事業量	営農活動支援費の助成 25件	営農活動支援費の助成 25件	営農活動支援費の助成 25件	営農活動支援費の助成 25件	営農活動支援費の助成 75件
	援農ボランティアの活用 5人	援農ボランティアの活用 10人	援農ボランティアの活用 15人	援農ボランティアの活用 20人	援農ボランティアの活用 45人
	認定農業者 ^{※5} の認定 3人(累計26人)	認定農業者の認定 3人(累計29人)	認定農業者の認定 3人(累計32人)	認定農業者の認定 3人(累計35人)	認定農業者の認定 9人(累計35人)
	農福連携農園の運営 区民・地域との連携 事業 実施	農福連携農園の運営 区民・地域との連携 事業 実施	農福連携農園の運営 区民・地域との連携 事業 実施	農福連携農園の運営 区民・地域との連携 事業 実施	農福連携農園の運営 区民・地域との連携 事業 実施
	農業体験農園助成 30区画 (累計228区画)	農業体験農園助成 30区画 (累計258区画)	農業体験農園助成 30区画 (累計288区画)	農業体験農園助成 30区画 (累計318区画)	農業体験農園助成 90区画 (累計318区画)
	成田西ふれあい農業公園の運営	成田西ふれあい農業公園の運営	成田西ふれあい農業公園の運営	成田西ふれあい農業公園の運営	成田西ふれあい農業公園の運営
	農地保全のための取組 実施 —	農地保全のための取組 実施 東京都エコ農産物事業 の推進	農地保全のための取組 実施 東京都エコ農産物事業 の推進	農地保全のための取組 実施 東京都エコ農産物事業 の推進	農地保全のための取組 実施 東京都エコ農産物事業 の推進
	地産地消の推進 学校給食 地元野菜デー 全校実施 事業所・即売会等 450回	地産地消の推進 学校給食 地元野菜デー 全校実施 事業所・即売会等 450回	地産地消の推進 学校給食 地元野菜デー 全校実施 事業所・即売会等 450回	地産地消の推進 学校給食 地元野菜デー 全校実施 事業所・即売会等 450回	地産地消の推進 学校給食 地元野菜デー 全校実施 事業所・即売会等 1,350回

※1 農福連携農園:農業と福祉の連携事業を実施する農園。障害者や高齢者等のいきがい創出や健康増進、障害者等の就労につながる取組のほか、農産物の提供による福祉施設等の運営支援や区民・地域との連携事業を実施

※2 成田西ふれあい農業公園:区民が農に親しむ場として、気軽に土とふれあい、農を「見る」「ふれる」「楽しむ」ことができる公園

※3 農業体験農園:園主(農家)が開設し、利用者は園主が定めた年間計画に沿って、園主の指導のもと、苗の植え付けから栽培管理・収穫までの農作業を体験できる農園

※4 東京都エコ農産物:東京都が化学合成農薬と化学肥料を削減して作られる農産物を認証する「東京都エコ農産物認証制度」により認証された農産物

※5 認定農業者:国の制度に基づき、農業者が作成した効率的で安定した農業経営改善計画を区が認定する農業者

(3) 区政経営改革推進計画(令和6年度～令和8年度)

隣接自治体等との連携による区民サービスの向上		企画課	
		地域安全担当、産業振興センター	
<p>安全・安心な地域社会をつくるため、隣接する自治体や警察署、地域住民と協力し、区境における合同パトロールを実施します。</p> <p>また、求職者と区内事業所のマッチング及び区内就労の促進に向け、近隣区と合同の就職面接会を実施するほか、中野区・豊島区及び東京商工会議所各支部と連携してアニメ事業を展開します。</p>			
年度	6(2024)年度	7(2025)年度	8(2026)年度
取組内容	区境合同パトロールの実施 保育のおしごと就職相談・面接会 年2回 わかもの就職相談・面接会 年1回 中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業の実施	区境合同パトロールの実施 保育のおしごと就職相談・面接会 年2回 わかもの就職相談・面接会 年1回 中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業の実施	区境合同パトロールの実施 保育のおしごと就職相談・面接会 年2回 わかもの就職相談・面接会 年1回 中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業の実施
効果			
関連する計画			
(実行計画) 施策3 防犯力が高いまちづくり (実行計画) 施策8 就労支援と多様な働き方の推進 (実行計画) 施策8 アニメを活用した誘客促進			

(4) 協働推進計画(令和6年度～令和8年度)

杉並産農産物の地産地消の推進		産業振興センター	
		—	
<p>生産者、JA東京中央、教育委員会と連携して、学校給食に杉並区産農産物を活用する「地元野菜デー」を全校実施するとともに、地産地消推進連絡会での意見交換や即売会の開催を通じて、区民が新鮮な野菜を食べたり、生活に潤いを与える花を見たり、触れたりする機会の充実を図り、都市農業の良き理解者・応援者の拡大につなげていきます。また、東京都と連名で策定した環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画に基づき、東京都エコ農産物の支援や区内産農産物の地産地消を推進します。</p>			
年度	6(2024)年度	7(2025)年度	8(2026)年度
取組内容	学校給食地元野菜デー 全校実施 地産地消推進連絡会 開催 杉並産農産物即売会 450回 東京エコ農産物事業の推進 実施	学校給食地元野菜デー 全校実施 地産地消推進連絡会 開催 杉並産農産物即売会 450回 東京エコ農産物事業の推進 実施	学校給食地元野菜デー 全校実施 地産地消推進連絡会 開催 杉並産農産物即売会 450回 東京エコ農産物事業の推進 実施
関連する計画			
(実行計画)施策8 都市農業の支援・保全と地産地消の推進			

(5) デジタル化推進計画(令和6年度～令和8年度)

区内就労促進と産業振興のための情報発信		産業振興センター	
		—	
<p>就労支援センターのホームページやSNSなどを活用して、就労支援センターで実施している就労支援事業の周知を強化し、利用者の拡大を図るとともに、求人情報サイト「就職応援ナビすぎなみ」を活用して区内企業と求職者のマッチングを積極的に行います。こうした取組を通じて、働きたい区民の就労を促すとともに、区内企業に必要な人材の確保にもつなげ、区内産業を推進します。</p>			
年度	6(2024)年度	7(2025)年度	8(2026)年度
取組内容	Webサイト等を活用した就労支援・産業振興実施	Webサイト等を活用した就労支援・産業振興実施	Webサイト等を活用した就労支援・産業振興実施

(6)区立施設マネジメント計画(令和6年度～令和12年度)

⑤	施設名	杉並会館、杉並アニメーションミュージアム、ゆうゆう上荻窪館、ケア24上荻
	所在地	上荻3-29-5
	建築年度	昭和42年度(1967年度)(築56年)
	延床面積	会館：3,597.54㎡、アニメ：495.74㎡、ゆうゆう館：248.8㎡、ケア24：75.6㎡
	【課題】	<p>○築56年を経過しており、施設の老朽化が進んでいますが、当面、必要な設備の更新を行いながらセプション機能を実施し、今後については、施設の老朽化の状況などを踏まえて、改めて検討することとします。</p> <p>○杉並アニメーションミュージアムは、観光資源と位置付けていますが、立地環境や施設の老朽化などの課題があります。経済活性化などの効果をより高めるため、移転場所を検討する必要があります。</p> <p>○暫定的に運営しているゆうゆう上荻窪館、ケア24上荻は、旧上荻窪会議室等跡地活用と合わせて検討する必要があります。</p> <p>★ゆうゆう上荻窪館及びケア24上荻は、第1次実施プランの「取組案の検討」に記載があります。</p>

⑨	施設名	産業商工会館、すぎなみ協働プラザ
	所在地	阿佐谷南3-2-19
	建築年度	昭和40年度(1965年度)(築58年)
	延床面積	会館：1,003.24㎡、プラザ：67.2㎡
	【課題】	<p>○産業商工会館については、「杉並第一小学校等施設整備等方針(平成29年(2017年)5月)」を踏まえて、移転改築をする杉並第一小学校の跡地に整備する建物に機能を移転する予定です。</p> <p>○すぎなみ協働プラザについては、上記の移転時期を踏まえて移転先等の検討が必要です。</p> <p>○築58年を経過していますが、令和2年度(2020年度)に移転等までの間の施設の維持に必要な改修工事を実施しています。</p>

杉並区総合計画等（地域産業分野）の改定（案）について

(1) 総合計画（令和6年度～令和12年度）

指標名	見直しの概要	見直しの理由
1 創業支援による創業者数	・上方修正 年130件⇒年180件	実績を踏まえ、指標を上方修正する。 (令和4年度162件)
2 就労支援センターの利用による就職決定者数	・指標名を変更 「就労支援センターの利用により、就職が決定した人数」 ↓ 「就労支援センターの利用による就職決定者数」	指標名が長いので、短い表現に修正する。
3 商店街のイベントに参加したことがある区民の割合	変更なし	—
4 アニメーションミュージアム来館者数	・上方修正 令和 6年度 36,000人 令和 9年度 54,000人 ↓ 令和 8年度 60,000人 令和12年度 80,000人	コロナ禍以前5年間（平成26年～平成30年）の平均来館者数は、53,685人であり、令和8年度には、その回復を見込み60,000人とし、その後、5,000人ずつの増を目指す。
5 区内農業産出額（農地面積1ha当たり）	・指標名・目標値を変更 区内農業産出額 320百万円 ↓ 区内農業産出額(農地面積1ha当たり) 令和 8年度 7.6百万円(令和6年分) 令和12年度 7.7百万円(令和10年分)	都市農地の減少や後継者不足などに直面する都市農業の現状を踏まえた、より適切な指標に変更する。

(2) 実行計画（令和6年度～令和8年度）

計画事業名	見直しの概要	見直しの理由
①中小企業の経営と創業の支援の充実	・「商工相談」を「創業・経営相談」に変更	相談内容の実態にあわせた表現に変更する。
②就労支援と多様な働き方の推進	・求人開拓・企業情報提供において、新規求人情報件数の増 各年度1,000件⇒2,000件 ・就職相談・面接会の開催回数の増 各年度20回⇒28回	・新規求人情報件数については実績を踏まえ、指標を上方修正する。 (令和2年度1,658件、令和3年度1,697件、令和4年度2,365件、3年間平均1,907件) ・就職相談・面接会の開催回数は、令和5年度から、就労支援センターで個別就職面接会を年8回実施することとしたため変更する。
③地域に根ざした商店街の活性化促進	a 商店街イベント事業補助件数の減 各年度110件⇒100件 b 地域団体との連携によるイベント事業補助件数の減 各年度5事業⇒3事業 c アドバイザー派遣事業（新規） アドバイザー派遣各年度100件 イベント等の実施各年度5事業 d 施設整備・販売促進等の商店街活性化事業補助の増 各年度15事業⇒21事業	a b 直近の実績から、商店街イベント事業補助および地域団体との連携によるイベント事業補助件数の増加を見込むことは難しい状況にあることから減とする。 a の実績(令和元年度94件、令和2年度32件、令和3年度42件、令和4年度56件) b の実績(令和元年度2件、令和2年度0件、令和3年度0件、令和4年度1件) c 実行計画外事業として取り組んできた商店街へのアドバイザー派遣事業について、近年、活用件数が伸びていることから拡充し、アドバイザーを活用した商店街のイベント創設等の支援に取り組むこととする。 d 施設整備・販売促進等の商店街活性化事業補助については近年の実績を踏まえ、増とする。 d の実績(令和元年度8件、令和2年度8件、令和3年度14件、令和4年度24件)

④魅力的な観光情報発信の推進	変更なし	—
⑤アニメを活用した誘客促進	変更なし	—
⑥都市農業の支援・保全と地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> a 援農ボランティアの活用（新規） 令和6年度10人、令和7年度15人、 令和8年度20人 b 農福連携農園の運営における区民・ 地域との連携事業 検討・実施⇒実施 c 東京都エコ農産物事業の推進 （新規） d 地産地消の推進における件数の増 学校給食の地元野菜デー 810回⇒全校実施 事業所・即売会等 300回⇒450回 e 防災兼用農業用井戸の整備を削除 （ただし事業は継続） 	<ul style="list-style-type: none"> a 令和5年度より農業者が直面する高齢化や 人手不足などの課題を解決するために追加 する。 b 農福連携農園は現在実施中のため、実施に 変更する。 c 令和4年度末に東京都環境負荷低減活動の 促進に関する基本計画を策定し、東京都エ コ農産物認証制度を推進するため追加す る。 d 地元野菜デーを希望制から全校実施にする ことで全児童・生徒を対象に地産地消を推 進するために変更する。また、実績などを 考慮し、事業所・即売会等の回数を変更す る。 e 令和5年4月1日現在で区内に22基が地域的な 偏りがなく設置されていることや他区と比 しても設置が進んでいることから、当該事 業を計画外事業とする。

(3) 区政経営改革推進計画（令和6年度～令和8年度）

取組内容	見直しの概要	見直しの理由
隣接自治体等との連携による区民サービスの向上	変更なし	—

(4) 協働推進計画（令和6年度～令和8年度）

取組内容	見直しの概要	見直しの理由
杉並産農産物の地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食地元野菜デー 実施⇒全校実施 ・杉並産農産物即売会 各年度300回⇒450回 ・東京エコ農産物事業の推進 実施（新規） 	上記(2)⑥参照

(5) デジタル化推進計画（令和6年度～令和8年度）

取組内容	見直しの概要	見直しの理由
区内就労促進と産業振興のための情報発信	変更なし	—

(6) 区立施設マネジメント計画（令和6年度～令和12年度）

施設名	課題
杉並アニメーションミュージアム	杉並アニメーションミュージアムは、観光資源と位置付けているが、立地環境や施設の老朽化などの課題がある。経済活性化などの効果をより高めるため、移転場所を検討する必要がある。
産業商工会館	産業商工会館については、「杉並第一小学校等施設整備等方針（平成29年（2017年）5月）」を踏まえて、移転改築をする杉並第一小学校の跡地に整備する建物に機能を移転する予定。